



# まにわ

## 天井

真庭産のひのきを使ったシャンデリアを16個吊るしています。

## 議場

市役所4階  
議会は傍聴  
できます。  
4月28日撮影



## 議員席

1番から22番  
人数が多い会派から  
席を決めます。

## 執行部席

左側に本庁部長  
右側に振興局長  
が座っています。



# 議長に長尾、副議長に緒形

## 議長



議長 長尾 修

## 副議長



副議長 緒形 尚

## 議長・副議長選挙

4月28日、第2回真庭市議会臨時会において新たな議長、副議長を決める選挙が行われました。まず議長選挙には、3名が立候補、各候補者の立候補演説の後、全員による投票が行われました。3名の立会により開票が行われました。開票結果により長尾修議員が新たな議長に選出され長尾議長が就任のあいさつをしました。次に、副議長選挙には、2名が立候補、各候補の立候補演説の後、全員による投票が行われ同様に3名の立会により開票結果、緒形尚議員が新たな副議長となり就任のあいさつをしました。

## 文教厚生常任委員会



委員長  
9 伊藤 義則



副委員長  
4 伊賀 基之



1 奥 侑樹



3 加藤 大悟



17 妹尾 智之



6 谷本 彰良



20 苦田 智子

## 総務常任委員会



委員長  
14 妹島 弘和



副委員長  
2 田島 吉章



22 緒形 尚



18 小椋 一郎



11 黒川 愛



5 柴田 正志



16 葉廣 峰久



19 森脇 正和

数字は議席番号五十音順

# 「議会を前に」

真庭市議会 議長 長尾 修

真庭市も早いもので、昨年度末で20周年の節目を迎え、3月定例会では向こう5年間の第3次真庭市総合計画を議会で可決しました。

真庭市議会では、12年前に全議員の総意で議会基本条例を制定しました。これに伴い、議会活性化策の3本柱である「政策提言・市民参加・情報公開」を掲げ、全員野球で市民の皆様身近で信頼される議会を目指してきました。

ここで、真庭市21年目のスタートにあたり、今一度原点に立ち返り、積み上げ方式による合意形成を目指し、さらに議会活性化を進めます。

また、執行部ともよりよい信頼関係を構築しながら、適度な緊張感と一定の距離感を保ち、お互いに切磋琢磨し、真庭市発展のために努力していきたいと思えます。

## 議会運営委員会



◎妹尾 智之



伊藤 義則



妹島 弘和



○森脇 正和



庄司 史郎



福島 一則

## 議会広報編集特別委員会



◎森脇 正和



奥 侑樹



◎委員長 苦田 智子



○西田 文子



小椋 一郎



○副委員長 村上 善彦

## 産業建設常任委員会



委員長  
7 庄司 史郎



副委員長  
10 西田 文子



15 小田 康文



13 長尾 修



21 福島 一則



12 村上 善彦



8 吉原 啓介

## 監査委員



福島 一則

## 議会事務局



## 対話を大切にしながら…

真庭市議会 副議長 緒形 尚

このたび、市議会副議長に就任いたしました「緒形尚」でございます。皆さまの温かいご支援に深く感謝申し上げます。

真庭市のさらなる発展と、市民の皆さまの暮らしがより豊かで安心できるものとなるよう、誠心誠意努めてまいります。市議会が市民の皆さまとともに歩み、声を反映した政策を推進できるよう、議長をはじめ議員の皆さまと力を合わせて取り組んでまいります。

開かれた議会運営を目指し、皆さまとの対話を大切にしながら、より良いまちづくりに貢献する所存です。どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

# 3

令和7年3月第1回真庭市議会

## 3月定例会

会期2月21日~3月13日

3月議会の会議録は6月上旬、  
ホームページ及び議会事務局で閲覧できます。

### 【主な内容】

今回の一般質問は14人

- 令和7年度当初予算12件を可決
- 令和6年度3月補正予算11件を可決
- その他議案19件を可決
- 人権擁護員候補者の推薦を同意
- 発議1件を可決

### 令和7年度当初予算合計

# 539億7,204万円

予算は千円単位ですが、見やすくするため  
万円表記にしています。千円を四捨五入。

## を可決しました

予算特集は6ページに掲載。

### 令和6年度3月補正予算

# 17億5,063万円の減額

### 令和6年度3月補正予算会計別集計表

会計名	3月補正額	3月補正後 予算額
一般会計	△91,362	3,708,551
国民健康保険特別会計	△958	491,911
後期高齢者医療特別会計	△8,121	86,654
介護保険特別会計	△12,999	638,315
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	△176	5,807
浄化槽事業特別会計	△89	4,124
津黒高原観光事業特別会計	△2	2,833
クリエイト管谷事業特別会計	0	764
温泉事業特別会計	△83	11,813
特別会計合計	△22,428	1,242,219
水道事業会計	△11,614	217,776
下水道事業会計	△39,085	336,514
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	△10,575	171,180
公営企業会計合計	△61,274	725,470
合計	△1,750,630	5,676,240

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります



テント型パーティションとアルミ簡易ベッド



備蓄に適した倉庫を導入し、各防災拠点に設置

## 災害対策備蓄品

# 3,888万1千円計上

## 購入事業

一般会計 主な歳入・歳出（3月補正）

物価高騰対策としてキャッシュレス・市民ポイント推進5,860万円、飼料価格高騰緊急対策2,880万円、国土調査6,682万円、災害対策備蓄品購入3,888万円を増額。諸支出金2億2,021万円を増額。保育

## 臨時会

### 教育委員会委員の任命

教育委員会委員1名の任期が令和7年6月7日をもって満了となるので引き続き同委員を任命しました。任命されたのは、常本直史氏。

### 監査委員の選任

監査委員（識見を有する者）の任期が令和7年5月19日をもって満了となるので新たに須田秀之氏を選任しました。

園共通通経常管理費3億3,922万円、廃棄物処理施設集約化事業5億7,738万円、小学校施設整備事業1億6,610万円を減額しています。

# 真庭市総合計画の策定

2040年に真庭市が目指す姿と今後5年間の総合的かつ計画的な行政運営の方向性を示す第3次真庭市総合計画を策定するに当たり、議会の議決すべき事件に関する条例の規定により議会の議決を求められ議決しました。

総合計画では、2040年に向けた真庭市の姿、人口や財政の展望、真庭ライフスタイルについて示されています。

真庭ライフスタイルとはすべての「ひと」が安全に安心して暮らせる「まち」で自分や家族、そして地域を大切に思い、時代や環境に合わせて、地域資源の中から真庭市で生きる価値を見つけること。自分の手で創り上げていく「生き方」。誇りをもって生きていく「考え方」。互いを尊重した「暮らし方」です。



真庭市役所

## 土地の取得

### 【旧ヒルゼンハイツ敷地】

旧ヒルゼンハイツの敷地は、蒜山観光の中核的なエリアに存する真庭市のシンボルとも言える特別な場所であり、年々荒廃していく建物と土地は、地元住民と行政の長年の懸案事項でありました。これまでの経緯、行政的な関与（真庭市による出資）、地元の意向を踏まえ、旧ヒルゼンハイツの撤去と蒜山の観光・地域振興につながる景観整備に向けて、所有者のほか、債権者や賃借人など

関係者と交渉を進めてきました。

旧ヒルゼンハイツの撤去の実現に向け、真庭市と現在敷地内で営業を行っている株式会社丸野商工により、旧ヒルゼンハイツの土地・建物を取得（真庭市は土地のみ）、その取得代金を原資に建物を撤去する方針で合意

し、土地を取得することとなりました。

土地の取得面積は、10,006.35㎡、取得金額は、77,866,819円です。今後の跡地活用については、地元関係者等の意見を聞きながら蒜山の観光・地域振興につながる活用を行うこととしています。



旧ヒルゼンハイツ 蒜山上福田

## 発議

真庭市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

【可決】

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、条項の変更があったため条例の改正を行うもの。全会一致で可決されました。

## 請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための2025年度政府予算に係る意見書採択の請願は、継続審査となりましたが任期終了のため審査終了となりました。

## 陳情

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情及び僻地の放課後支援サービスへの補助金拡充に関する陳情及び真庭市立小中学校の学校給食無償化は、継続審査となりましたが任期終了のため審査終了となりました。

# 予

## 令和7年度

# 算

3月6日、7日、議長を除く全議員で予算審査特別委員会を開催し、当初予算と補正予算の概要について各部局長、課長等から説明がありました。委員から多くの質問があった後、すべて原案どおり可決しました。



## 一般会計当初予算 336億7,700万円 前年比 2.7%減

令和7年度の一般会計の当初予算額は、336億7,700万円で、前年度比9億4,100万円、2.7%減となり、市長選挙があったため骨格予算となっています。

主な要因は、真庭高校久世校地跡地に子育て支援

拠点を備えた久世第二こども園（仮称）を建設、遷喬小学校長寿命化（床修繕、暖房、LED化、窓ガラス等）事業、まにこいん普及促進事業などによるものです。（金額は千円を四捨五入）



長寿命化事業を行う遷喬小学校

令和7年度当初予算会計別集計表 単位:万円

会計名	令和7年度 予算額
一般会計	3,367,700
国民健康保険特別会計	492,068
後期高齢者医療特別会計	90,648
介護保険特別会計	643,389
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	6,792
浄化槽事業特別会計	3,512
津黒高原観光事業特別会計	2,714
クリエイト菅谷事業特別会計	1,029
温泉事業特別会計	11,237
特別会計合計	1,251,390
水道事業会計	230,173
下水道事業会計	389,254
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	158,687
公営企業会計合計	778,115
合計	5,397,204

### 一般会計予算 主要事業 抜粋 (金額は千円を四捨五入)

#### 1 みんなではぐくむ子育てのまちな実現

- 久世第二こども園（仮称）整備工事 7億2,426万円
- こどもはぐくみ応援事業 857万円

#### 2 安心とつながりの中で人が育つまちづくり

- 遷喬小学校内部大規模改修工事 1億8,220万円
- 教育魅力化推進事業 5,228万円

#### 3 支え合い いきいきと誰もが活躍できる真庭

- デジタル地域通貨「まにこいん」普及促進事業 1億3,818万円
- キャリア開発事業 2,171万円

#### 4 安心して暮らし続ける事ができる真庭

- 災害時孤立可能性集落対策事業 847万円
- 介護人材確保推進事業 227万円

#### 5 にぎわいにあふれ豊かさを実感できる真庭

- まにわ地域共創拠点整備事業 1,200万円
- 空家活用推進事業・空家安全対策事業 7,089万円

#### 6 回る経済と脱炭素への挑戦

- 畜産バイオマス発電施設整備事業 541万円
- 真庭版農業支援サービス構築事業 4,417万円



久世第二こども園(仮称) 外観イメージ

# 総務常任委員会

委員長 加藤 大悟 委員 小田 康文  
 副委員長 西田 文字 委員 庄司 史郎  
 委員 岩本 壯八 委員 長尾 修  
 委員 緒形 尚 委員 中尾 哲雄

本委員会は、令和6年12月11日、令和7年2月5日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《総務部》

### ■電子契約サービスについて

財産活用課から「電子契約サービス導入に向けた試行運用について」の説明がありました。

電子契約とは、従来の紙の契約書ではなく、電子データの契約書を、法的に有効な契約書として成立をさせるものです。真庭市においても導入を進めるために、7年1月から試行運用する予定です。電子契約サービスの導入に伴う効果としては、市と受注者双方で契約期間の短縮、契約書の郵送料、用紙代、封筒代、保管費用などの大幅なコスト削減が見込めるほか、契約書の紛失リスクや、契約漏れ、遅延等の防止も期待できます。

また、受注者は、電子契約サービスを無料で利用できるほか、印紙の添付が不要となり契約コストを削減することができそうです。



電子契約

導入スケジュールは、12月中旬にサービス事業者を選定、1月から試行運用を開始し、4月から財産活用課の契約案件を先行して、本格的に運用を開始したいと考えています。

### 問

電子化されるのは契約書だけということか。

### 答

紙で提出いただく資料もあるが、試行運用しながらどういった方法がいいか検討する。できるだけ電子化し、来庁あるいは郵送しなくてもいいようにしたいと考えている。

## 《市長直轄組織》

### ■真庭市地域防災計画について

危機管理課から「真庭市地域防災計画の修正」について説明がありました。地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、市防災会議が作成する防災に関する業務の総合的な運営計画です。この計画は、災害対策基本法において、国が作成する災害基本計画及び岡山県が作成する岡山県地域防災計画との整合が必要と定められています。

令和6年度真庭市防災会議にて、修正を承認いただいたのち、県に報告するとともに、真庭市ホームページに掲載しました。

### 問

計画には、能登半島地震の教訓などは、どのように生かされているか。

### 答

国、県の計画への反映状況を確認し、来年度の市の計画に詳細に反映させる予定である。

## 《総合政策部》

### ■市制20周年記念事業について

秘書広報課から「市制20周年記念事業について」について説明がありました。

真庭市は平成17年3月31日に合併し、本年度20周年を迎えます。

20年の真庭市の歩みを振り返り、新たな交流や気づきを生み、真庭市の持つ魅力や賑わいを地域内外へ発信し、未来を展望し行動する決意を醸成するため記念事業を実施します。

当事業では、市民啓発・プロモーションとして、市民が実施するイベントなど20周年の冠をつけて実施していくものや、市民団体が行うイベント等へのロゴの掲載などで、機運を高めていくほか、記念イベントなどを行います。

式典は令和7年6月8日に開催します。内容については、マルシェなどと複合的に開催できるよう検討しています。



真庭のグルメや乗り物コーナーなどイベント盛りだくさん!

最新情報はこちら →

MANIWA20YEAR

# 文教厚生常任委員会

本委員会は、令和6年12月12日、令和7年1月24日、2月4日、2月18日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《健康福祉部》

### ■こどもはぐくみ応援プロジェクト 2025

子育て支援課から、こどもはぐくみ応援プロジェクト2025について説明がありました。

令和7年度も、こどもまんなかまつりや座談会の開催に加え、新たに屋内の公共施設等を活用した市内巡回遊び場を実施し、ニーズの把握に努めていきます。また、市が実施する施策や子育て情報を市民インフルエンサーや動画で配信するほか、子育て支援施策のチラシを作成し配布します。さらに、公園などの情報を動画やマップで配信し、子育てがしやすい社会の実現に向けた理解促進を図っていくことです。

### 問

3年目を迎えるが、課題や発展していきたい部分をどう考えているのか。



こどもまんなか企業座談会

### 答

働く女性の増加や、男性の育児参加が進む中、子育て支援には企業との連携が重要であり、今年度は企業との連携や、子どもの居場所について検討してきた。これまでのアンケート結果等をもとに課題を整理し、テーマを絞って検討していきたい。

## 《生活環境部》

■らくらく窓口証明書交付サービスの開始

市民課から、らくらく窓口証明書交付サービスの開始について説明がありました。

書かない窓口づくりとして、窓口に来られた利用者が自分のマイナンバーカードを使い、申請書を作成することなく、証明書を受け取ることができるサービスです。発行可能な証明書はコンビニ交付と同じ住民票の写し、印鑑登録証明書、課税証明書です。メリットとして、利用者は申請書の作成が不要となり、窓口での滞在時間も減少されます。導入時期は令和7年3月で、設置場所は、本庁舎の市民課、落合振興局、美甘振興局に予定しているとのこと。

### ■学校部活動の地域移行

スポーツ・文化振興課から、学校部活動の地域移行について説明がありました。

急激な少子化の中にあり、将来にわたり子どもたちが継続的にスポーツや文化、芸術に親しむことを目的に、令和8年度から、土曜日・日曜日など休日の部活動の地域移行を目指しています。令和6年度は実証事

- 委員長 妹島 弘和 委員 氏平 篤正
- 副委員長 黒川 愛 委員 大月 説子
- 委員 浅野 和昭 委員 古南 源二
- 委員 伊賀 基之 委員 福島 一則



部活動の様子

業として、スポーツでは陸上やバドミントン、文化では吹奏楽を土曜日・日曜日に活動日を設け市内中学生を対象に取り組みました。令和7年度からはハンドボール、野球、卓球、バレーボールなど種目の拡大を考えているとのこと。

### 問

例えば、野球だと2、3か所とか、吹奏楽だと何か所とある程度の目安というのは考えているのか。

### 答

部活動の状態、人数にもよるが、当然集まってもらうことを想定している。その場合、配慮として、場所の移動、保護者負担を考え実証事業として検証したい。

# 産業建設常任委員会

委員長 柴田 正志 委員 妹尾 智之  
 副委員長 森脇 正和 委員 森田 敏久  
 委員 伊藤 義則 委員 吉原 啓介  
 委員 入澤 廣成

本委員会は、令和6年12月13日、令和7年2月6日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《建設部》

### ■真庭市下水道の管渠状況について

上下水道課から、真庭市下水道の管渠状況について説明がありました。真庭市の下水管延長は、令和5年度末で約261キロとなっています。そのうち、約236キロメートルについては、腐食性にすぐれ硫化水素にも強い塩化ビニール管を使用しています。その他の管渠につきましては、ポリエチレン管とか、ダクタイル鋳鉄管を使用しています。

点検は5年に1回義務づけられており、計画的に実施しています。令和2年に腐食のおそれのある40か所の下水管を点検しましたが、異常は確認されませんでした。次の点検は令和7年度に点検を予定しています。

**問** 埼玉で大きな事故があったが埼玉の材料は何だったのか。真庭市の設備の中で危険性があるのは

どの材料になるのかを教えてください。

**答** 埼玉で使用されていたのは、報道等によるとコンクリート製の管渠であった。危険性があるのは、硫化水素により腐食の恐れがあるコンクリート製の管渠で、真庭市での使用延長は2.8kmで下水管渠の約1%である。



塩化ビニール管敷設状況

## 《産業観光部》

### ■令和7年度の鳥獣害対策について

農業振興課から令和7年度の鳥獣害対策について説明がありました。

ニホンジカの重点的な対策が必要だと考えています。ニホンジカに対しては、4月から6月の重点捕獲期間を設け、この間の捕獲を高めていくことにしています。市の捕獲補助金について、1頭あたり1万円のところを、2,000円増額し、1万2,000円で予定しています。

またニホンジカのジビエ利活用の加算について増額をする予定です。現在、ジビエカーの処理は、令和6年12月の末時点で80頭を処理しています。12月末時点で前年を上回るペースで処理を行っており、ジビエカーの処理能力にも限界が近づいてきて、ジビエカーにかわる一次処理施設の導入や整備が必要になっています。

重点としている捕獲事業とジビエ加算により、一次処理は増加していくことが予想されています。森林被害の対策としても捕獲圧を高めていく

必要がありますので、森林環境譲与税と国庫事業を活用した可動式の解体処理施設、いわゆる「ジビエコンテナ」の7年度内の整備を検討しています。

**問** 上質なジビエ肉というのは、非常に引く手あまたと聞いているが状況はどうか。

**答** 真庭のシカの状況を考えると捕って解体する1次処理まで迅速にできるところは、強みだと考えており、食肉加工の後、どう売っていくかが真庭市の課題と聞いている。ジビエを始め、真庭産品全体の販促を進めていきたい。



真庭市のジビエカー

# 一般質問

3月定例会の議事録は  
6月上旬から閲覧できます  
二次元バーコードをスマホ等で読み取ると、  
一般質問が視聴できます。  
一般質問の記事は、個人質問は800字以内で、  
質問した議員本人がまとめています。

岩本 壯八

問



ひとり親家庭の生活安定を

厚生労働省の調べでは離婚後の養育費受領率は全国で28.1%と、低水準にとどまる。昨年6月に成立した改正子ども貧困対策推進法には、離婚後の養育費受領率向上が明記され、国を挙げて改善に動いている。養育費不払いの支払い義務者に対して市が支払いを働きかけ、それでも払われない時には、申請した親権者に市が一定期間立替え、支払い義務者に対して市が費用の督促と回収をする「養育費立替え支

援事業」に取り組む自治体もある。生活を安定させ、親から子どもへの貧困の連鎖を防ぐ意味からも、同様の事業に取り組むべきだ。

答 太田市長

養育費履行確認のための費用助成制度の創設を考えている。支払い義務者に対し、債務名義をもって取り立てていくまでは考えていないが、市役所内外の支援機関が連携して一体的に切れ目なく行える体制の強化を図っていく。

問

中小企業支援ネットワーク構築を

中小零細企業の事業者は、販路開拓や資金繰り、起業、創業、事業継承、特許や意匠など相談内容が複雑化、多様化し、各分野の専門家支援を必要とする事案

答 太田市長

も多くなっているのではないかと。経営、融資、技術、法律などの専門的な各種相談をワンストップで行う中小企業向けビジネス支援ネットワークを構築すべきだ。

真庭商工会と市が連携しながら、役割分担が必要だということ、商工会に市も、あるいは国、県の支援を入れながら、商工会で創業から経営相談、経営革新計画、事業継承、資金繰りなど様々な相談に対応している。商工会が相談窓口となつて専門家につないでいく、ワンストップ窓口として役割を相当担っている。商工会を中心に業者支援に取り組んでいく。



中小企業の味方 商工会

答 弁 者



三ツ宗宏教育長



太田昇市長

請した親権者に市が一定期間立替え、支払い義務者に対して市が費用の督促と回収をする「養育費立替え支

## 真庭市議会議員 会派の所属状況

令和7年4月24日届出

※会派は、政策集団であり、派閥ではありません。会派の並びは所属人数五十音順です。

真和会 しんわかい

会派代表者

妹島弘和  
柴田正志  
谷本彰良  
長尾 修

明日の真庭を考へる会 あす まにわ かんが かい

会派代表者

緒形 尚

共生 きょうせい

会派代表者

村上善彦

緑真会 りよくしんかい

会派代表者

森脇正和  
伊藤義則  
苦田智子  
西田文字

クリスタルの会 かい

会派代表者

加藤大悟

翠山会 すいざんかい

会派代表者

吉原啓介  
奥 侑樹  
田島吉章

思誠 しせい

会派代表者

庄司史郎

日本共産党 にほんきょうさんとう

会派代表者

伊賀基之

公明党真庭市議団 こうめいとうまにわしぎだん

会派代表者

妹尾智之  
小椋 一郎

拓 ひらく

会派代表者

福島一則

森真会 しんしんかい

会派代表者

小田康文  
葉廣峰久

みらい

会派代表者

黒川 愛

柴田 正志



### 新たな課題 忠魂碑の管理

忠魂碑を管理している団体は主に遺族会。草刈りや清掃活動を行い忠魂碑を守る大きな役割を果たしてきた。しかし遺族会員の減少と高齢化により管理活動が困難になる事例が出てきている。忠魂碑の管理を自治体が引き継ぐケースも増えてきている。

① 忠魂碑の管理を新たな課題と認識し調査してどのような対応をするかの検討が必要な時期が来ているように思うがいかがか。

② 地震とか年月を経て危険な状態になることも想定される中、遺族会員の今後の安心につながるよう地域や遺族会では管理できない事となった時にどう対応するかの方針も決めておく必要があると思う。

### 答 太田市長

① 真庭市では19基ある。戦

後造られたものはほとんどなく国が率先して、当時は県が中心となって造っている。真庭市が直接関与していないので多くの碑は遺族会が管理している。遺族会として平和の尊さを次に伝える役割を担っていることで遺族連合会の補助をして活動を支援している。忠魂碑を真庭市が管理するのは過去の経過からいかながなものであると思う。それぞれの地域、それぞれの事情で適切な管理をしていただくことしか方法はないと思う。

② ケース・バイ・ケースでやらなければいけないと思う。真庭市が所有し管理しているわけでもないという原点だけは理解いただきたい。



いつも櫛が立てられている忠魂碑 若代



### まごいんの課題

流通量が増えないのが課題と考える。その中で市としてできることとして、チャージが周辺地域でも誰でもできることを考えていく必要もあると思う。

### 答 木村総合政策部長

口座チャージに関しては、ゆうちょをはじめ、ほかの金融機関とも調整を進めている。近いうちにできると考えている。

### 大月 説子



### 人口減少への適応策

第2次総合計画では、2040年の人口目標を3万4千人程度としている。人口減少対策を強力に進めても人口は減少する。増田寛也氏は、人口減少対策として自然減抑制策、社会減抑制策、縮小社会への適応策があるとしている。今回は、縮小社会への適応策とし

は、縮小社会への適応策とし



ささえあいデイサービス憩で子ども達と漆喰アート作成 鹿田

もって、市民目線で、命がけの仕事をする覚悟。

② 次世代に負担をできる限りかけないことを含めて、既存の施設数の見直し、廃止も考えている。労働力のミスマッチを起している。DX社会が理想。市役所職員も減らさざるを得ない。

③ 真庭市や周辺市町村で、できるものとそうでないものがある、情報公社を広域化して活かしていきたい。

### 答 三ツ教育長

① 縮小社会の戦略に向き合うトップの覚悟。② ダウンサイジングとして、社会資本の維持管理、労働力率の低下。③ 広域連携について市長の見解を伺う。

④ 児童・生徒数の減少と地域偏在を見据えて、教育においても縮小社会への適応策を準備していかなければならないと考え教育長の見解を伺う。

### 答 太田市長

① 剰余価値概念を理解した上で経済政策を打っていく。経済政策を根底に置きながら最後は共生社会。情熱を

④ 問題が顕在化しているからこそ、多様な世代がつながって活動し、そのプロセスで育ち可能性も広がる。縮小する人口や財政に合わせて教育の魅力が縮小するのではなく、可能性を引き出すことが持続可能な地域づくりの土台であり、縮小社会に適応する考え方。今後人もつなぎ、対話、協働を大切にしながら、人口が減っても活力あるまちづくりを教育の分野から担っていく。

吉原 啓介

問



### 農地、山林以外の獣害対策

最近、落合垂水の中心に近いエリアでもイノシシ出没の痕跡が目立つ。また備中川の堤防が至るところで掘り返されている。

農地、山林以外の獣害に対する危険への認識、正しい情報発信や市民喚起等の対応をどう考えるか。

### 答 太田市長

市民生活を守るといふ観点からも、イノシシ対策をすべき。

現在、県が統一マニュアルを作っており、真庭市や県のホームページで市民への喚起を行っている。



イノシシによる掘り返し被害 備中川堤防

ている。今後、まにあぶり等の活用も含めて対応していく。

### 答 美甘建設部長

堤防の内外とも手当たり次第に掘っている状況で、県民局の真庭地域事務所が河川担当者に状況と位置の情報伝えており、対策をお願いしている。

問

### 原材料等支援事業をより使いやすく

原材料等支援事業は、市民協働の観点から自らの労力をもって道路等の維持補修工事等を行う自治会等を支援する制度だが、完工後の安全性が求められる補修工事であれば専門業者の委託が必要で、作業委託に係る費用全額を対象から除外することは理に合わないように思われる。

より使いやすい制度にするための見直しを検討することはできないか。

### 答 太田市長

人口減少、高齢化集落等が多くなった場合、住民で重機

を動かすというようなことがしにくくなるということも事実であり、そういう実態に合わせてこういう制度も変えていく必要があると思っている。そういう問題意識を持って検討していく。

### 答 美甘建設部長

法定外公共物の大規模な修理という問題になるかと思う。真庭市全体の状況を把握して諸問題を整理、地域と行政の役割を明らかにし、それに合わせた維持管理方法を考慮する必要があると思う。

西田 文子

問



### 日直業務の縮小でもスムーズな対応

4月1日から土日と祝日の日直業務を本庁舎と麓山振興局に集約し、警報発令時には従来どおり対応するというが、2月1日に警報は発令されなかったが、重たい雪が降り道路に竹がしだれ、倒木があり、振興局に電話をし

本庁舎に分かる職員が居なければ、電話での説明に手間取る。各地区を把握している職員を組み合わせることができるとか。

AIを活用し、電話の音声情報からの早期問題解決を考えているのか。

### 答 太田市長

配置する職員も経験年数などを考慮する。市民の問い合わせや早急な対応が必要な事業は、住宅地図やパソコン等で位置を特定し、迅速で丁寧な対応に努めている。AIを活用した音声情報等は、宿日直業務に限らず、必要に応じて検討する。

問

### 水道事業と水道管設備の修繕計画

吉備中央町の円城浄水場から国の水質管理目標を超えるPFASが検出され緊急対応の必要性を指摘された。

①真庭市ホームページの水質検査結果に、PFASの検査結果は公表されていないのか。

水質検査結果 市HPより

い。PFASの検査の状況と予定を伺う。  
②水道管設備は供給が始まって耐用年数に近いものがあるのではないかと。水道管の修繕計画を伺う。

### 答 太田市長

①令和2年度から年一回、9か所でPFASとPFOAの水質検査を実施。吉備中央町の事例を受け、令和5年度には51浄水場全部において水質検査を実施。結果は全て測定できる数値以下。ただ、ある期間公表し、それを削っていた。ずっと出せばいいので戻している。

②水道管の耐用年数は40年、それを超えている管は令和5年度末で58キロメートル。更新時には耐久性も高い耐震管に更新。51の水源地があると災害には強い。



相談窓口がある落合人権・福祉センター 下方

緒形 尚



**関係機関との連携を密にし実態把握**

ひきこもりは誰にでも起こることで、特別なことではないという理解を社会全体で進め、当事者や家族の状況に応じてその声にじっくりと耳を傾け、継続した相談支援等を行うことが重要だと考える。当事者は、生きるためにひきこもり状態にならざるを得ない。いつか元気になるまで自分でもできることをしたい、働きたい、活躍したい、

ひきこもっている間、悩み考え苦しんでいる。私は、生きるためのエネルギーをためている充電期間と捉えることが大切だと考えている。ひきこもり支援について、市長に伺う。

①市内のひきこもり人数の実態把握をする必要があると考えるが検討するか。

②落合地域で行っているひきこもり支援について相談件数が増えていると聞くが、相談窓口の人員やリソースは不足していないのか。

**答 太田市長**

①効果的な対策が必要で、どういう実態か把握することは大変重要である。ひきこもりの相談支援に取り組む市役所、民間の関係機関、保健所、民生委員さんもいる。それぞれが把握している情報を、プライバシーに十分気を付けながら共有することで、市全体の実態把握になる。今まで一定の連携はあるが、それが弱いという反省をしている。

**答 樋口健康福祉部長**

②落合人権福祉センター

の方には、本当によくやっていただいている。しかし、人員やリソースについては、十分とは言えないと思っている。人権福祉センターの現状もよくお伺いしながら、受皿を増やすとか、外部の専門員の力をお借りすることも考えている。人材育成をしていくことも必要だと考えている。

市としてどういう支援ができるのか。落合人権福祉センターだけでなく、庁舎内でも考えていかなければいけないと思っている。課題意識を持ちながら進めていく。

森脇 正和



**まにこいんの公共施設料金支払い**

まにこいんがスタートして2年が経過し、1月27日からアプリ機能も追加され非常に便利になった。2年が経過してもいまだ公共施設の利用料、印鑑証明、住民票の取得料金がまにこいんで支払できないのはなぜか。



まにあぶりの一画面

**答 太田市長**

灯台もと暗しという面があり反省している。準備を進めており本年10月から条件が整ったところから順次導入していく。



**ごみ袋と持ち込みみ料金改定**

1月よりごみ袋と持ち込みみごみの料金改定がなされ

た。燃えるごみの袋は、32%の引き上げだが、持ち込みみごみは2.8倍の引き上げになっている。この件について問う。

**答 太田市長**

改定前において持ち込みごみの手数料がごみ袋の約半額であったことから、公平な受益者負担になるよう、ごみ袋で排出しても持ち込みみでも同額の手数料にしたものである。

伊藤 義則

問



## 直売所と生産者のあり方

真庭市場を視察した。まず株式会社オール真庭の本社を訪ね、成り立ち・仕組み・事業内容・売上等、課題を聞いた。その後、高槻店と守山店へ行った。真庭市内の売上高は6.5億円(2021年度)、高槻店は2億円、守山店は0.8億円(2023年度)だ。高槻店はJR高槻駅と阪急高槻駅を結ぶ自転車・歩行者が行きかう通路に位置し、売場面積32坪、バックヤード4坪の店舗だった。地元出身の店長に聞くと「今日も開店時に30人位並んでいた」お客様は午後になると新鮮野菜が無くなることを知っていると「もっと野菜が欲しい」二部加工品はあるが圧倒的に新鮮野菜と一部果物が売れる「そつだ。次に守山店に行った。ショッピングセンターの専門店街の一角にある35坪のインショップだった。高槻店と違い、生鮮野

菜・果物は少なく真庭市の加工商品と健康食品が主力のようだった。「令和4年度6次産業化総合調査・農林水産省」によると圃場面積、農業従事者ともに減っているが農産物直売所の売上高は1兆円を超え、均衡又は微増だった(R1~R4)。1億円以上の売上高の店の割合は、前回の26.9%から40.8%に増加している。真庭市の小規模生産者、新規就農者にとって「直売所」は大切な場所になっている。株式会社オール真庭は大切な役割を担っている。



蒜山「風の家」 蒜山上徳山

市長に尋ねる。①直売所の売上高を伸ばすことをPOSシステム改変時に解決できるか。②売上高が一番多い「風の家」の売上高推移をどう考えるか。

## 答 太田市長

①新たなPOSシステムを導入してどうしたら売上が伸ばせるか、収益につながるのかを一緒に進めていきたい。

②より魅力的なものにすることは、戦略的に非常に意味がある。もっと強化していきたい。

伊賀 基之

問



## 国保税の値上げに対して、支援策を

①国保の加入者の多くは高齢者、年金生活者。若い世代も不安定雇用者が多い。「国保は高すぎる。支払う限度を超えている。」などの声を聞く。国保運営協議会では、早い時期に値上げが必要とつづける。

政府は子育て支援金制度

を作り、財源は国保や健保組合が負担としている。令和8年度は、一重に値上げになる。市民の悲鳴が聞こえてくる。何らかの助成措置はいるのではないか。②国保の子どもの均等割を削減できないか。国保だけがおぎやあと生まれた時から、3万4,800円払う。ほかの健保制度の子どもは、扶養に入っている。

## 答 太田市長

①保険給付などの必要な経費は、受益者が負担するのが原則である。令和7年度以降に、税率改正を検討する。

②少子化対策でできることがあるのか、効果が生じるか、国保会計が健全に維持できるか、幅広く考えていきたい。

問

## 真庭の共生社会を進めていくために

①共生のまち作りを進めるため、令和4年8月に共生社会推進市民会議を設置するとしている。若い世代が都市部に出ていく理由の一つにその地域が共生社会、ジェンダー平等でないことが挙げ

られる。熟議は尽くした。市民推進会議を作っていかなければならない。②パートナーシップ宣誓制度を、企業・病院等で取り入れていく所が少ない。③新婚さんバックアップ事業が、パートナーシップ宣誓カップルに適用にならない。見直すべき。



さくら健康サロン

答 木村総合政策部長

①民間の取組が進んでいる。今、市民会議にこだわるやり方は考えてない。

答 池田生活環境部長

②市単独では浸透しない。県民運動として県に働きかける。

答 太田市長

③少子化対策でもあり、事実婚・パートナーは対象外としている。

庄司 史郎

問



**市道整備のスピード感ある対応を**

市民から修繕要望も毎年多く出てきていると思うが、現在の舗装長寿命化事業の予算では遅々として進んで行かない状況にあると思う。

各振興局に事業量調査を行わせ、本庁建設課において集約・精査して事業計画を策定し、それに基づいた予算を組んで実施していくべきと考える。そうでないと市民が強く望んでいる市道整備のスピード感ある対応は望めないと考える。

**答 太田市長**

地元からの要望あるいは道路パトロールなど、局が取りまとめて、本庁建設課とも協議したうえで毎年計画を見直し、修繕している。より客観的なものにならないのかを指示している。

建設費は他の市町村と比較すると真庭市は誇れるくらい出している。ただ、市民実

感からすると、必ずしもどうなのかというのもある。そのあたりも考えていかななくては思っている。

問

**プロポーザル審査結果の公表を**

文教厚生常任委員会において、久世第二こども園整備工事設計業務に係るプロポーザル審査結果について、公表を求めたが担当課からは出せないとのことであったと聞いているなぜ公表できないのか。

プロポーザルの要綱の中の第8条に審査委員会における審査結果は、委託業者を決定した後に公表するところ。結果を公表するというの



久世第二こども園(仮称)建設予定地 惣

は、決まった業者名だけを公表するということなのか、その公表範囲はどこまでと考えているのか。

**答 伊藤副市長**

委員会に対し個別の事務の資料を提出、説明することが、議会と執行部との権能、役割分担、議会と執行部との信頼関係から悩んだが、今後の入札事務・業務への影響も考えた上で、詳細な審査内容、審査結果については委員会への報告は控えさせていただいた。

黒川 愛

問



**いじめ相談体制の充実を**

文部科学省調査で、いじめの認知、重大事態数が過去最多。不登校関連要因調査では、当事者の生徒26%がはじめ、保護者は29%、教師は4%。学校の教師と子どもと保護者に大きなギャップがある。学校で解決できればベストだが、学校で解決できない

事柄は、市長も言われたが、市全体で地域の宝である子どもたちを守っていくことが大切。その仕組みづくりを伺う。

生活総合相談窓口がくらし安全課にあるが、ホームページを見ても、いじめのことも書いていない。大きく書いて。

**答 太田市長**

問題意識はある。相談体制はあるが、それ以上こちらがどういう風にならしていくか、具体的な対策まで至っていない。今後の大きな課題。

**答 三ツ教育長**

いじめの行為がなくなっても、学校卒業後も、解消に至らない場合もある。関係機関と連携し、いじめの早期発見と丁寧な対応に取り組む。

問

**女性が働きやすい環境作り**

①待機児童の解消を。働きたいのに働けない女性が出続けている。本当に大きな問題。経済的、精神的な負

真庭SDGs円卓会議  
…ジェンダーレスについて



担がどんどん大きくなる。  
②企業への働きかけ、男性の育児休暇取得支援、管理職に女性が就くことも大切。市役所だけだと難しい。商工会、企業連携が必要。③はぐくみサポーター派遣は人気で、もっと増えれば。

ジェンダーギャップを埋めるため、市内小中学校のトイレに生理用品の配置は前向きな一歩。

**答 太田市長**

①問題の解消に向けて、保育士や支援員の確保に取り組む。

**答 木林産業観光部長**

②企業に対し、今ヒアリング事業を展開している。

**答 樋口健康福祉部長**

①今年度、待機児童は発生している。③はぐくみサポーター派遣、拡充が大きな声として上がれば、具体的に検討を進めればよい。

妹尾 智之

問



### AEDに色付き三角巾の配備を

AEDの電極パッドは素肌に直接貼る必要があり、正しい位置にパッドを貼りつけることができれば、下着を外さなくても問題なく動作する。ある調査では、救急隊が到着する前にAEDの電極パッドが装着された男性と女性の



オレンジ色の三角巾

比較をしたところ、女性が大幅に低かったという結果が出た。女性にAEDの電極パッドを貼り付ける場合、どうしても肌を露出してしまおうと思うため、救命処置をする方が躊躇してしまうということがある。女性のプライバシーを保護するにも応急処置にも使える色付きの三角巾をAEDに配備する考えはあるか。

### 答 太田市長

女性の立場から、いろいろあると思う。消防署と危機管

理が議員の意見を踏まえ、女性の意見も聞きながら、工夫できるか、それともそういう三角巾を用意したほうがいいのかを含めて検討する。

### 答 今石危機管理監

今までその三角巾のことに ついて、私もあまり知らなかった。簡単に導入できるもので一刻も早く命が救える状況であるなら、積極的に導入し、かつ市民の皆様によく知っていただき、いざという時にしっかり活用していただきたいと考えている。

浅野 和昭

問



### 久世第二こども園 (仮称) は安全か

私は、誰よりも久世第二保育園の建設を求めている立場の人間である。園児の事を考え、保護者や祖父母からも相談を受け、保育士の事も考えれば令和9年度開園ではなく、令和8年度にでも開園できないものかと切望している。

①提案課題に、真庭市が木材利用を促進していることも踏まえた地域産木材の利活用に関する提案についてとある。この言葉では抽象的で分かりにくい。無垢材なのかCLTなのか集成材なのかはつきりしない。この文言は誰が作成したのか。

②CLTや集成材の寿命は接着剤の寿命であり、木材に比べて大幅に短くなると言われている。調べても接着剤には種類があり、耐用年数についてはエビデンスの確認ができなかった。なぜ強度が強い真庭産の松などではなくCLTや集成材か。松は建築して15年から20年かけて強度が増えていくと言われている。隈研吾氏が世界各国ですばらしい建築物を造った事は承知している。しかし、木造建築物については、本年2月に発売された雑誌の対談の中で「木材は生き物であり、経年劣化は避けられない。また、木材を大規模な建築物で使うようになって20年ほどですから、言わば実験段階なんです。今、模索の期間です」と認識を示している。隈研吾氏の建築である美術

館は青カビが生え、腐食でぼろぼろになったとニュースになった。CLTや集成材の問題が明るくなった今、園児や職員がカビなどを吸い込めば健康被害が出るのではないかと心配している。それでも使用をすることを考えるのか。

### 答 樋口健康福祉部長

①執行部の中で協議をした上で作成をしている。

### 答 川端まちづくり推進監

②できて100年たったものではないから、誰が言うのが正しいかは非常に難しい。



久世第二こども園(仮称)イメージ図 子育て支援課提供

妹島 弘和

問



**市内事業者への事業継続支援を**

ガソリンが全国平均で185円となり、一般家庭をはじめ、物流に大きな影響が出ている。この高騰した商品、サービスを最終的に負担するのは市民ではあるが、市内事業者も原材料費の高騰とガソリン補助金廃止の影響を受けている。このままでは市内事業者の事業継続が危ぶまれる。

そこで、市内事業者に対して事業継続のための支援が、今こそ必要ではないか。

**答 太田市長**

真庭のような零細が多い所は、仕入価格や材料費の上昇に価格転嫁がなかなかできないことで需要が停滞し、収益が悪化していると判断している。

ガソリン価格の高止まりは一般市民も大変であるが、事業者にと



高騰するガソリン価格

っては経費を増大させる要因になっている。事業継続のための支援については、エネルギー価格高騰による抜本的な対策は国の役割で、一真庭ではどうしようもない。そういうことで省エネ機器を導入してエネルギー経費を抑えていく、「事業者省エネ対策機器導入補助金」を実施したい。

問

**白梅総合体育館に空調設備の導入を**

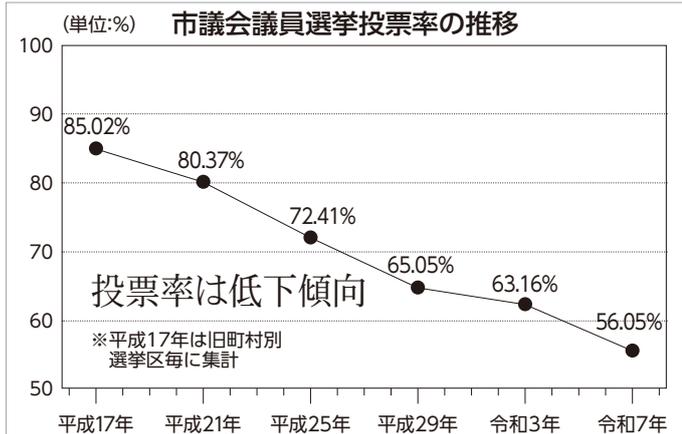
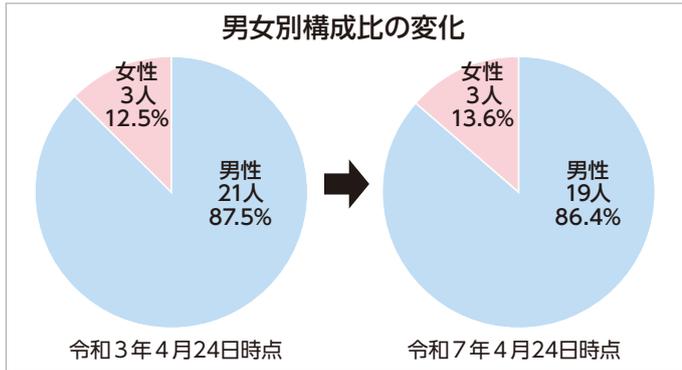
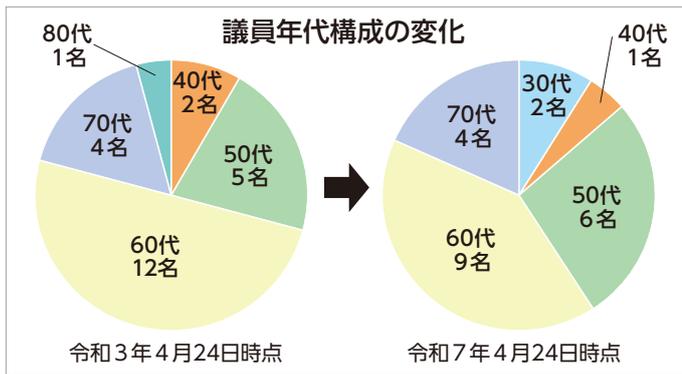
白梅総合体育館は、令和5年度は約4万人の方が利用している。夏季は参加者の熱中症を防ぎ、安全を守る必要があり、冬季においては体を動かしやすい環境整備が必要である。

さらに白梅総合体育館は避難所に指定。アリーナの施設においても空調設備の設置が必須であると考える。

**答 太田市長**

白梅体育館を指定避難所としているが、冬の寒いとき、夏の暑いときに使わなくても、エアコンのある所で2千人ぐらい収容できれば、真庭の場合いけるんじゃないかと思っている。

そういうことで、空調設備については、今後の課題ということで答弁させていただく。



**議会を傍聴に行こう**

真庭市議会の本会議・常任委員会を間近で傍聴してみませんか。議会広報の紙面では、お伝えできていない議員の生の活動が伝わってきます。傍聴を希望される方は、議会開催中に市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。

傍聴席は、30席用意しています。



傍聴席 モデルは議会事務局職員

ます。

本会議の様子は、真庭いきテレビで生中継されています。

議員の発言の際、傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承ください。

GIKAI NO UGOKI

# 議会

の

# 動き

1月 2月 3月 4月編

## 議員研修会でPPP・PFIを学ぶ

1月21日、株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門地域・共創デザイングループマネージャー徳丸翔氏を講師に招きPPP・PFIについて議員研修会を行いました。

旧真庭高校久世校地跡地の整備においてPPP・PFIの手法を積極的に推進することとなり議会側もいち早く勉強することとしました。

PPPとは、公民が連携して「公共サービスの提供等」を効率的かつ効果的に行う手法。PFIはPPPの代表的な手法であることなどを学びました。



議員研修会

# PPP

Public  
(公共)

Private  
(民間)

Partnership  
(協力)

# PFI

Private  
(民間)

Finance  
(資金)

Initiative  
(政策)

## 文教厚生委員が蒜山校地を現地視察

1月29日、文教厚生常任委員会が勝山高校蒜山校地寮の工事現場を視察しました。教育委員会、高校、業者からの説明を受け、相互に意見交換を行いました。正式名は「真庭市学習交流センター」と決定し、3月21日、関係者が一同に会し落成式を実施しました。工事費は約4億8千万円です。



現地視察

## 当選証書付与

4月14日、市役所会議室において市長選挙、市議会議員選挙の当選証書付与式が行われました。



当選証書 付与

## 当選した議員の顔ぶれ



奥 侑樹



田島吉章



加藤大悟



伊賀基之



柴田正志



谷本彰良



庄司史郎



吉原啓介



伊藤義則



西田文子



黒川 愛



村上善彦



長尾 修



妹島弘和



小田康文



葉廣峰久



妹尾智之



小椋一郎



森脇正和



苦田智子



福島一則



緒形 尚

MANIWA  
2025

SHIMIN  
NO  
HIROBA

# 市民 の 広場

ここは市民みなでつくるページです  
楽しい気持ちでご参加ください



▲五月の庭のサツキ  
TOMO



◀夕暮れの公園  
上町のカール  
・マルクス



天に供えるシャクナゲ BUN



あまね君100日祭 剛えりか



えさはこっち かたくり



新緑のトンネル桜 よーいどん



あした天気になあれ 風曜日

## 募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。声は氏名を載せることにしています。

応募先▶真庭市議会  
宛先：20ページの帯欄に記載しています。

ホームページをご覧ください



ホームページ



フェイスブック

9月定例会の請願と陳情の受付は7月31日(木)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

# 9月定例会の請願・陳情は7月31日(木)まで



リニューアルした北房ほたる公園

すよっと一枚

**問題**  
令和7年4月からの真庭市議会議員の定数は?

○○人

GIKAI QUIZ  
まがいのクイズ



萩山籠そば

**正** 解者の中から20人に「萩山籠そば(4食)つゆ入り」(ワークスひるぜん)が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切：6月30日(月)消印有効。

前号の応募総数は31通で、正解者は31人でした。ご応募ありがとうございました。

## 6月定例会は6月13日(金)から7月11日(金)

6月13日(金) 本会議(開会・議案上程・提案説明)  
27日(金) 本会議(一般質問)  
30日(月) 本会議(一般質問)  
7月1日(火) 本会議(一般質問・議案質疑)  
2日(水) 3日(木) 4日(金) 常任委員会  
7日(月) 8日(火) 予算審査特別委員会  
11日(金) 本会議(委員長報告・採決・閉会)

■会議は通常午前9時30分に開会します。■正式には6月5日(木)の議会運営委員会で決定します。

### 市議会20年の歩み

真庭市が誕生して20年、市議会も同様に20年となりました。

9カ町村が合併して誕生した真庭市議会も平成17年の選挙では、地域別定数にて選挙が行われました。北房5、落合8、久世7、勝山6、美甘3、湯原3、中和2、八東3、川上3の定数40人で投票率は85.02パーセントでした。

その後、定数は、26、24、24、24、22となりました。投票率も80.37、72.41、65.05、63.16、56.05パーセントと徐々に下がっていききました。

議会だより創刊号を見てみると議会構成の常任委員会も4常任委員会あり驚きでした。定例会の議案の審査結果も詳細に書かれていてすごいと感じました。議会広報編集特別委員も12名と現在の6名と桁違いです。

創刊号の最後に、「議会の広報は、単なる情報公開だけでなく市民の皆さんと議会との信頼関係を築く架け橋の役目をもっている」とあります。月日がたち様々な変革があり今回、80号の発行となりましたが、その精神は受け継いでいきたいと思えます。今後市民の皆様手に取っていただける広報紙を目指します。

(文責 森脇)



## 真庭いきいきテレビ ご視聴下さい

真庭市議会定例会は真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。

一般質問や各常任委員会付託案件審査は、録画して後日放送しています。

GIKAI HEADLINEは、真庭いきいきテレビ YouTube チャンネルで、定例会閉会2週間後から2週間視聴できます。

令和7年6月1日発行 TEL 719-33292  
発行 真庭市久世2927-2 真庭市議会

TEL (0867) 42-1272 FAX (0867) 42-1420  
URL <https://www.city.manawa.lg.jp/> (真庭市ホームページ)  
Eメール [gikai@city.manawa.lg.jp](mailto:gikai@city.manawa.lg.jp)